

倫理審査委員会議事録

日 時： 平成24年5月11日（金） 15:15～

場 所： 研修室2

出席者： 委員（進行）	副院長	林弘人
委員	脳神経外科医長	上杉政司
	看護部長	出原陽子
	薬剤科長	相良義弘
	外部委員	中野昌治（弁護士）
	外部委員	中川明人（市薬剤師会）

申請者、審議事項：

「PERCIST-PET/CT を用いた新たな治療効果判定基準の検討」

（主任研究者：診療放射線技師 田仲 由香）

「転移・再発乳癌に対する低用量アブラキサン3週毎投与法も治療継続性を検討する第ii相試験」

（主任研究者：外科 医長 佐伯 俊宏）

切除不能・進行再発大腸癌に対する2次治療としてのTS-1 + CPT-11 + α (Panitumumab/Bevacizumab) 併用療法の有効性、安全性を検討する第II相試験 (UGT1A1 遺伝子多型と下痢の相関性の検討) - IRIS-PB trial -

（主任研究者：副院長 外科 林 弘人）

副院長：ただ今より倫理審査委員会を開催します。

切除不能・進行再発大腸癌に対する2次治療としてのTS-1+CPT-11+ α (Panitumumab/Bevacizumab) 併用療法の有効性、安全性を検討する第II相試験(UGT1A1 遺伝子多型と下痢の相関性の検討)- IRIS-PB trial -

矢原昇医師より説明

定量性を示す腫瘍糖代謝の指標の確立を目的とする。新たな指標は体格や病状による影響を受けにくいことおよび再現性が高いことを中心に検討を行う。また、同指標を用いて治療前後の変化と臨床経過や予後との関連を検討する。このために、すでに診療の範囲内で既に実施された FDG-PET/CT 検査を後ろ向きに解析を行う。この指標が確立すれば、代謝の変化を利用することでよりの確な治療効果判定が可能となり、ひいては適切な治療と予後推定が可能になると期待される

医学研究等の対象及び実施場所

対象者：2010年4月1日～2012年3月31日までに当院にてPET/CT検査を施行した者。

研究の実施場所：NHO 関門医療センター放射線部内、九州大学大学院医学系学府

各委員：出席者全員一致で了承。